

ご勇退される 方々より



夕陽の絆に感謝



福島町立福島中学校
鈴木 牧 男

檜山管内厚沢部町立館中学校を振り出しに一市七町の九校に勤務させていただいた。

その地に遅しく生き人情味溢れる方々に包まれ、燃える先輩・仲間から、人としても育てられてきた感があります。夕陽の諸先輩から多くの励ましとご示唆をいただき、心強く感じ、同窓の仲間と切磋琢磨し教師としての資質力量を磨きあつた思いがあります。

夕陽魂が、かくもあたたかく強い絆として息づいていることを、かみしめることができました。いま、教師としての終焉を迎えるにあたり、多くの同窓の皆様にお世話になりましたことを感謝申し上げます。同窓のよしみと言いますが、改めて夕陽の絆の強さを感じ感謝するとともに、夕陽会のみずますの発展を心より願っています。



出会いと感謝



木古内町立木古内小学校
伊藤 良 美

思えば、同窓の方々に支えられ、教えられ、育てられたことに心より深く感謝している。私の若い頃は、そのような思いに疎く、会費が高いだとかぼやいている一人であった。他管へ異動して初めて、同窓の絆の有り難さを感じ、しみと実感できたと思う。そして出会いに感謝している。

木古内支会総会では、夕陽会の旗をお借りして掲げ、「夕陽賛歌」を歌うことが伝統になっている。旗の下に集い、共に歌い同窓の絆を深めるのである。個人的には、「寮歌」の歌詞も好きである。平成卒の若き会員には、馴染みのない歌だが、その歌詞のすばらしさと共に肩を組み歌う諸先輩の姿に、これからの時代を担う皆さんへの強い励ましと教育への熱い思いを感じるのである。私も先輩の一人として、退職後もできることを少しでも返すことができたらと思っている。

すべてに感謝です



北斗市立上磯小学校
和高敏明

教師を目指し教育大学に入つたものの、あまり褒められた学生ではなく、よく卒業できたものだと今でも思っています。

初任校は北檜山町立二俣小学校で、すでに閉校となっていました。私にとつては教職生活の原点となった大切な学校です。教師になれた喜びとともに、初めての地で大変心細い思いでいっぱいでしたが、温かく迎えてくれたのは夕陽の先輩方でした。以来、九校でお世話になりましたが、様々な場面で同窓の皆さんからお力添えをいただいたことは、生涯忘れることはできません。夕陽会のありがたさを身にしみて感じるとともに、私なりに同窓の絆を大切にしてきました。これからも大切な夕陽会です。

今、改めて建学の精神と母校の現状を共有し、同窓の絆を深めていきたいと思っています。



皆さんの力を借りて



北斗市立谷川小学校
村國壽英

忘れもしない昭和五十一年、函館市立大森小学校に着任した自分は、函館支部の夕陽会歓迎会（正式の名前は忘れてしまいました。）で、代表してあいさつをすることになり、しどろもどろにあいさつをしたことを今でも、鮮明に覚えています。夕陽会とはどんなものかも分からず、ただ、「みんなが入る会なのだ。」と思っていました。それもそのはず、当時、学校の先生のほとんどが函館分校出身者でした。その先輩達が新卒の自分に手を取り足を取り「学級経営」「授業づくり」などを教えてくれました。教師としての基礎作りをしてくれたのは諸先輩方のおかげだと感謝しています。そのことから三十八年間、夕陽会のためになにができたか何をしたか未だに疑問ですが、このように大過なく過ごせたのも夕陽のおかげかなと思っています。



夕陽の絆に感謝して



七飯町立大中山中学校
大澤 敏 弘

登別市立幌別中学校を振り出しに、二市三町、九校に勤務させていただきました。初任校には、夕陽の先輩が何人もいて、胆振連合支部の夕陽会には毎回出席して、いろいろな場面で、懇切丁寧なご指導を受けました。函館から離れていても「夕陽の絆」は強くと改めて感じました。教頭の時には、夕陽渡島支部の庶務幹事を三年、校長の時には監査を二年間、事務局のお手伝いをさせてもらい、きめ細かな企画運営がなされていることや脈々と夕陽の伝統が引継がれていることがわかりました。振り返ってみれば、どの学校でも、職員室の中核となって活躍していたのは、夕陽の先生方でした。夕陽の皆様を支えられて、退職の日を迎えることができ、感謝の気持ちで一杯です。夕陽渡島の一層のご発展をお祈りいたします。



38年をふりかえって



七飯町立大中山小学校
岡川 彰

昭和五十一年四月、当時まだ函館市と合併する前の南茅部町立磨光小学校で教員としての第一歩を踏み出しました。山の斜面に建つ古い校舎で思い出深い学校でした。先輩の先生方からは若いからといわれ、ついその気になり、様々な経験をさせていただいたことが、今日までの教員生活につながっています。その後、八雲小学校、谷川小学校、七重小学校、さわら小学校、久根別小学校、そして大中山小学校と勤務し、たくさんの子どもたちと出会うことで自分を磨くことができたことが私の宝です。今日まで無事に教員生活を送ることができたのは周りの皆様に励まされ支えられてきたからだ。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。





ゆつたりとした時間の中に



鹿部町立鹿部中学校
岡頭 慎一

昭和五十一年、専門教科「技術・家庭科」の期限付き教諭で初めての学校勤務となりました。函館市立船見中学校です。

年度末に採用となり、函館市立西中学校、渡島には六十年度の七飯中学校が始まりです。荒れていた鹿部中。恵山東光中、母校木古内中、長万部中、八雲中、熊石第二中、そして、二度目の鹿部中学校で退職です。生徒が落ち着いていました。全部で、十一校の学校と地域の皆様にお世話になりました。小学校を希望したのですが、専門教科の関係で中学校となり、小学校に行くことはありませんでした。教員はたくさん地域の域を歩くこと、たくさん生徒に出会うことが楽しみのひとつです。そして、たくさん夕陽の仲間と会えたこと。多くの出会いと環境が今の私をつくってくれたと感謝しています。



平成二十六年度
全国支部長会議・
本部総会・懇親会

■期 日 六月二十一日(土)

・全国支部長会議

午後一時半から

・総 会：午後四時から

・懇親会：午後五時半から

■会 場 函館国際ホテル

◎申込締切 三月二十七日(木)

◎申込方法 同封の葉書にて

※終身会員で参加を希望される方には、会費等について、四月中に幹事長が御連絡いたします。

会務中間報告

〔平成25年度〕

5月11日(土)	平成25年度支部総会・大懇親会 (新会員歓迎会)を開催する (ホテル法華クラブ函館 参加者123名)	7月9日(火)	各支会に会費納入のお願い送付 七飯支会総会・懇親会に出席 (本部・橋田会長 支部・井上幹事長)	17日(火)	杉山利夫様(終身会員) ご逝去、弔電と香典を送付する 第1回本部役員会 (附属小井上幹事長)
13日(月)	支部大懇親会・新会員歓迎会の 礼状発送	9日(火)	福島支会総会・懇親会に出席 (本部・奥崎幹事長 支部・井上幹事長)	11月29日(金)	平成25年度「勇退予定者」の確 認開始
6月6日(木)	北斗支会総会・懇親会に出席をす (本部・橋田会長 支部・高橋副支部長)	12日(金)	第1回支部役員会議 (萩野小学校)	12月1日(日)	夕陽渡島N.O. 121号を発行 勇退者激励感謝の会出欠はがき (終身会員)集約開始
7日(金)	知内支会総会・懇談会に出席を する (本部・橋山副幹事長 支部・木村副支部長)	18日(木)	森支会総会・懇親会に参加 (本部・橋田会長 支部・井上幹事長)	6日(金)	平成25年度「勇退予定者名簿」 を庶務幹事に連絡
7日(金)	鹿部支会総会・懇親会に出席 (本部・奥崎幹事長 支部・小林監査 第5回本部役員会)	19日(金)	第1回支会長・幹事長会議 (大中山コモン)	9日(月)	平成25年度「勇退者激励感謝の 会」の案内発送開始する
13日(木)	第1回支部役員会議の案内発送 第6回本部役員会 (国際ホテル 鈴木支部長・井上幹事長)	19日(金)	夕陽渡島N.O. 120号を発行 木古内支会総会・懇親会に参加 (本部・奥崎幹事長 支部・高橋副支部長)	1月20日(月)	平成25年度「勇退者激励感謝の 会」の各種依頼を開始する
14日(金)	本部顧問・参与会 (国際ホテル 鈴木支部長・井上幹事長)	25日(木)	資料の提供案内 上原孝一様(終身会員) ご逝去に弔電と香典を送付する	27日(月)	第2回支部役員会議を開催する (萩野小)
22日(土)	全国支部長会議 (国際ホテル鈴木支部長) 本部総会・大懇親会 (国際ホテル支部参加者51名)	8月1日(木)	全支会に「明日の教師養成塾」	2月8日(土)	第2回支会長・幹事長会議を開 催する (ホテル法華クラブ、本部橋田 会長、奥崎幹事長ご臨席)
		9月6日(金)	松前支会総会・懇親会に参加 (本部・奥崎幹事長 支部・高橋副支部長)	21日(金)	平成25年度「勇退者激励感謝の会」 を開催する(ホテル法華クラブ)
		9月14日(土)	会員(福島小福島秀三先生) 結婚式祝電送付		夕陽渡島N.O. 122号を発行

終身会員の皆様へ

「平成二十六年 渡島支部
総会・懇親会」
(新会員歓迎会を兼ねる)

◎五月十日(土)

総 会：午後三時から

大懇親会：午後五時から

◎会場 ホテル法華クラブ函館

◎会費(終身会員) 六千円

◎申し込み締め切り

三月二十七日(木)

◎申し込み方法

同封の葉書にて

あ と が き

御勇退される方々の特集号、『夕陽渡島』第百二十二号をお届けいたします。御勇退される皆様には大変お忙しい中御寄稿いただき、心から感謝申し上げます。また、今年度も会員の皆様には多大なる御協力を賜り予定どおり発行できましたことに心からお礼申し上げます。